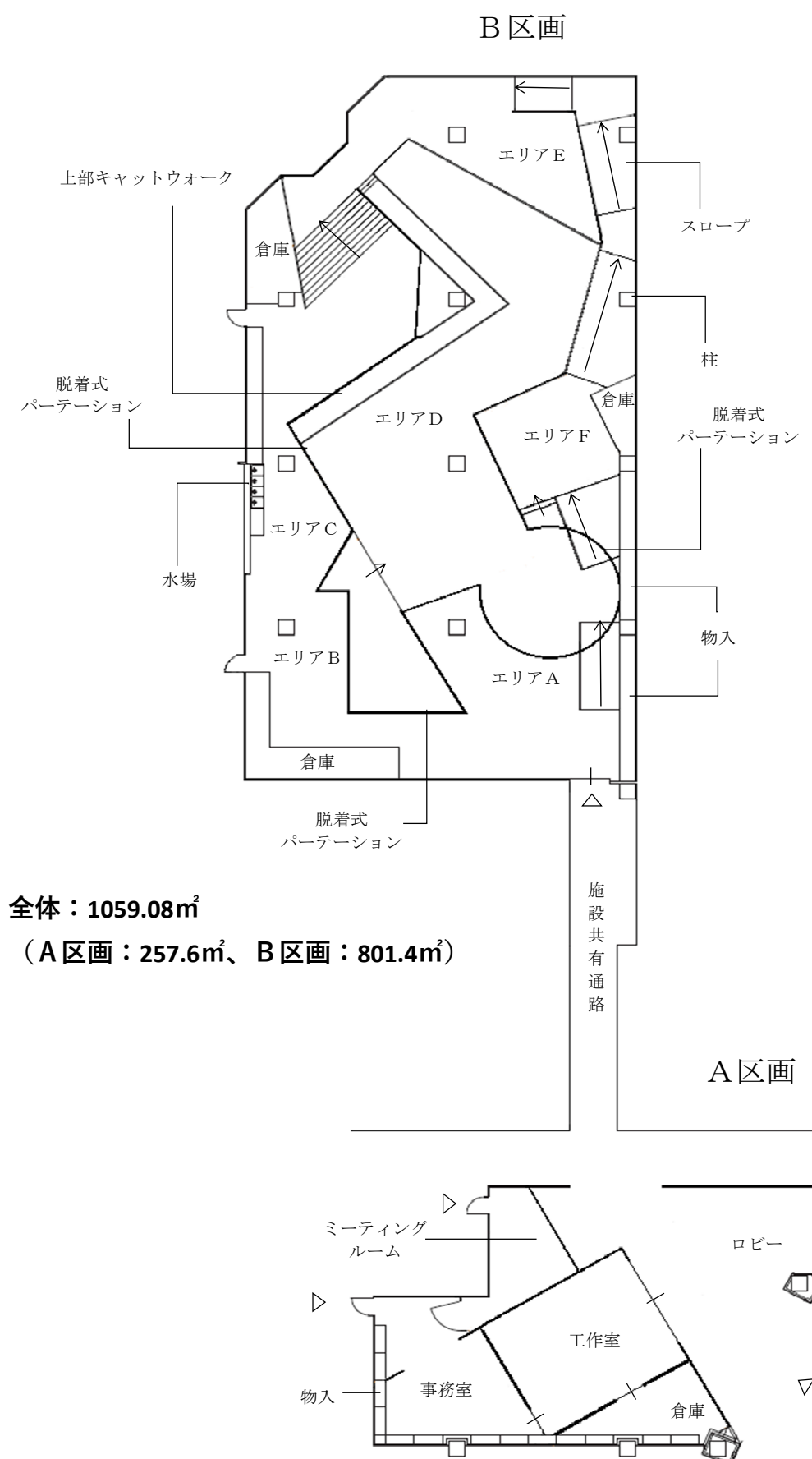


参考資料（４）アートラボはしもと後継施設内装設計イメージ

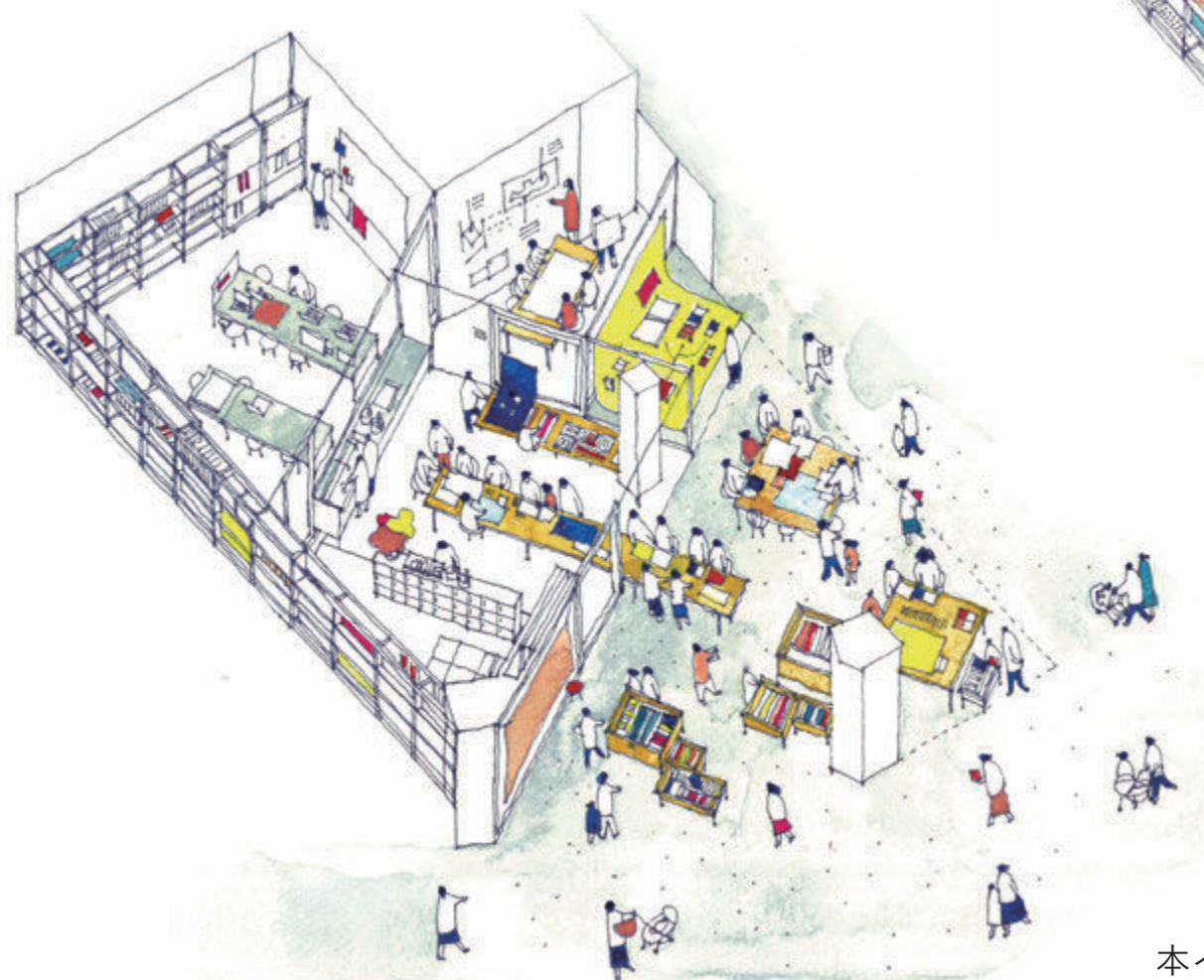


※上記は特定の施設条件にあわせて作成したものであり、施設の区分等は分離する必要はありません。

アートラボはしもと後継施設 イメージボード

A 区画：アートを意識する

アートと出会う入口となる A 区画では、
買い物の途中でも、ショーウィンドウを眺めるように
自然とアートの存在を意識できる場所です。
「なんだろう？」という気づきやひらめきが、
日常の中にそっと生まれるきっかけになります。



B 区画：アートを体験・体感する

アートの実験室として、ものづくりの工場や、
身体で表現する広場としても使える B 区画は、
アイデアや使い方が自由に広がる場所です。
ときには、アーティストや美大生の制作のそばで、
子どもから大人までが、つくったり、見たり、考えたり。
誰かの試作中の作品に刺激を受けて、
自分も思わず手を動かし、考えはじめる。
ゆっくりと、アートに向き合える場所です。

本イメージは、今後の設計や調整により、空間構成や仕様が一部変更される可能性があります。